

平成23年度自然体験事業

1 自然体験事業一覧

平成23年度は、一般の子どもや大人を対象とした自然体験事業を11回計画し、そのうち天候などの影響で2つの事業を中止しました。自然環境保全に関する人材育成のための継続した自然環境教育事業である「森の子コレンジャー」の活動は10回実施しました。また、公立学校の生徒や教員、保護者等を対象とした講演を8回実施しました。

一般向けの自然体験事業の目的は、自然が持つ魅力を発見し自然を好きになるきっかけを与えることです。環境教育は環境問題を解決するための教育ですが、そのためにはまず“問題を知る”ことが必要ではなく、自然のもつ素晴らしさに気づき“自然を好きになること”が重要だと考えます。そのための第一歩として、自然を好きになるきっかけを与える場を提供しています。

継続した人材育成事業である「森の子コレンジャー」の目的は、「自然愛や郷土愛を持った人材が育つこと」です。子どもの頃に体験した原体験が、その後の自然観や人生観を形成する手助けとなるだけではなく、地域が持つ多くの“宝”を守り、次世代へ伝えていく役割を担う人材を育てます。学年も学校も違う子どもたちが、身近な自然の中で共に学び合い、自然や文化そして仲間を知ることによって見えてくる多くの宝を、大切に作る心を育み、守るために必要な行動を学びます。

講演活動の目的は、多くの人に郷土の恵みの森づくり事業や森林レンジャーの活動、そしてあきる野の素晴らしい自然や環境教育の重要性を普及啓発することです。環境教育は、多くの方の理解や協力があればより良い活動が行えます。また、多くの方が自然を愛し身近な人に自然の持つ魅力や重要性を伝えていけば、環境問題を解決する行動につながっていくのではないのでしょうか。こうした、講演活動も重要な自然環境教育の一部です。

単発の自然体験事業

	実施日	事業名	対象	参加者数
1	6月21日	ふれあいウォーク21 (健康課主催)	大人	80
2	7月26日 ～27日	みどり体験交流事業	小学4年生 ～6年生	30
3	9月16日	昭島市立拝島第二 小学校養沢林間学校	小学5年生	64
4	10月16日	キャンピングカー フェスティバル	家族	30
5	10月29日	新宿の森植樹イベント (農林課主催)	新宿区民と あきる野市民	140 (市民58)
6	11月12日 ～13日	あきる野市産業祭 「どんぐり笛作り」	だれでも	152
7	11月26日	竹林整備と竹で遊ぼう	文京区の小学生と 保護者	－(中止)
8	12月3日	里山遊びをしよう	小学3年生以上と 保護者	22 (内保護者10)
9	12月17日	エコプロダクツ2011 クロモジで菓子楊枝作り	だれでも	25 (15日～17日の 観覧者は2029)
10	2月25日	協働の昔道を歩く	大人の市民	－(中止)
11	3月17日	里山たんけんだ！	小学生 (保護者参加可)	16 (内保護者5)
人数合計				559

人材育成事業「森の子コレンジャー」

	実施日	事業名	参加者数
1	5月15日	始動式	18
2	7月22日	夜の森をのぞいてみよう	17
3	9月10日	森の地図作り	13
4	10月29日	新宿の森植樹イベント (農林課主催)	14
5	11月6日	間伐体験	18
6	11月12日 ～13日	あきる野市産業祭 「どんぐり笛作り」の先生	19
7	1月5日	新年会	13
8	1月22日	巨木と出会う	14
9	2月12日	環境活動コンテスト 「アースワーカーズ」発表	2
10	3月11日	終了式	18
のべ人数			146

講演

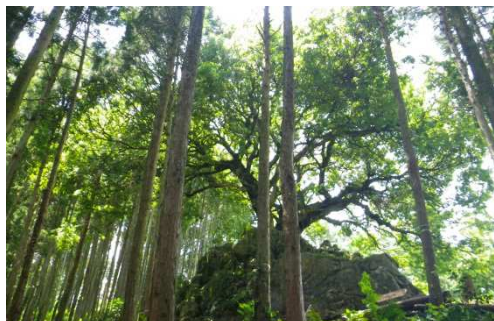
	実施日	事業名	時間	対象	参加者数
1	4月20日	五日市高校「地球環境」学習	10:00ー 11:00	第2学年	132
2	6月14日	寿大学市民講座	13:00ー 14:00	市内在住者 (60歳以上)	120
3	8月22日	市内中学理科教員研修	13:45ー 14:45	理科教員	15
4	9月15日	市内幼稚園保護者	11:20ー 11:50	保護者	180
5	9月22日	市内幼稚園教員	18:00ー 19:00	幼稚園教員	60
6	10月12日	昭島市立拝島第二小学校	13:30ー 16:00	教員	15
7	10月14日	南秋留小学校	14:30ー 15:30	教員と保護者	25
8	12月8日	あきる野の自然について	13:00ー 13:30	ロータリークラブ	40
					587

事業	人数
単発の自然体験事業	559
森の子コレンジャー	146
講演	587
総人数（のべ人数含む）	1292

2 事業内容詳細

(1) 一般向けの自然体験事業

① ふれあいウォーク21（健康課主催）



実施日時	6月21日11:15-12:15
対 象	市内在住者
場 所	深沢「山抱きの大カシ」
参加者数	80名
目 的	協働で整備した道を歩き、健康増進を図るとともに、地域の資源を紹介する。
内 容	深沢地区の方と協働で整備した大カシまでの道を歩き、参加者に山抱きの大カシを紹介した。

② みどり体験交流事業



実施日時	7月26日10:00-27日16:00
対 象	東京都内の小学4～6年生
場 所	戸倉、小宮地区
参加者数	30名
目 的	地域と協働による森づくりを通して 社会全体で森を大切にする心を養う
内 容	小宮小学校の体育館に1泊し、城山登山やアンマ釣りなどの郷土の自然遊びを体験した。軍道地区の方の協力の下、アジサイの植樹を行うなど郷土の森づくりにも参加した。

③ 昭島市立拝島第二小学校養沢林間学校



実施日時	9月16日9：00－12：45
対 象	5年生
場 所	養沢地区 横根道
参加者数	64名
目 的	地域と協働で復活させた昔道を歩き 森と人が共に生きてきたことを学ぶ
内 容	昔の人が生活道として利用していた昔道を歩き、馬頭観音、 山の神様などの歴史や文化に触れながら森歩きを楽しんだ。

④ キャンピングカーフェスティバル

実施日時	10月16日7：00－8：00
対 象	家族応募者
場 所	サマーランド敷地内の森
参加者数	30名
目 的	あきる野の森を歩く気持ちよさを感じてもらう
内 容	朝の散歩として、サマーランド敷地内の森を案内した。

⑤ 新宿の森植樹イベント（農林課主催）



実施日時	10月29日9:00-13:30
対 象	新宿区民とあきる野市民
場 所	戸倉地区伝名沢の市有林
参加者数	140名
目 的	植樹サポート
内 容	伝名沢にある新宿の森の植樹サポートを行った。植樹の後、地域の方が用意してくれたお昼を頂き、お囃子演奏など楽しんだ。

⑥ 産業祭



実施日時	11月12-13日10:00-16:00
対 象	だれでも
場 所	都立秋留台公園
参加者数	152名
目 的	あきる野の自然・郷土の恵みの森づくり・森林レンジャーの活動紹介とコレンジャーによる「どんぐり笛作り」
内 容	展示レクチャーやあきる野の自然の紹介を行い、どんぐり笛作りを行った。コレンジャーは笛作りの先生や宣伝を行い、人に伝える楽しさを学んだ。

⑦ 竹林整備と竹で遊ぼう！（環境ネットワーク・文京共催）

実施日時	11月26日10:00-15:00
対 象	小学生
場 所	菅生若宮子ども体験の森と市の竹林
参加者数	—（定員に達しなかったため中止）
目 的	里山遊びと竹林整備をした竹で工作し、遊ぶ
内 容	森に親しむ遊びを行い、荒れた竹林を整備して切った竹で弓矢などの遊び道具を作る、という内容だったが中止となった。

⑧ 里山遊びをしよう（冬）



実施日時	12月3日9:00-13:00
対 象	小学3年生以上と保護者
場 所	菅生交流会館
参加者数	22名（内子ども12名）
目 的	里山遊びとわら細工作りを通して里山に目を向ける
内 容	森に親しむ遊びを予定していたが、雨天のためわら細工作りのみの実施となった。地元のわら細工名人の指導の下、親子の共同作業でカメを作成した。

⑨ エコプロダクツ2011



実施日時	12月15－17日9：00－18：00
対 象	だれでも
場 所	東京ビッグサイト
参加者数	25名（ワークショップ）2029名（3日間総観覧者数）
目 的	あきる野市の取り組み紹介とクロモジで菓子楊枝作り
内 容	あきる野市で取り組んでいる郷土の恵みの森づくりを紹介すると共に、森林レンジャーの活動紹介を行った。また、クロモジで菓子楊枝作りワークショップを行った。

⑩ 協働の昔道を歩く

実施日時	2月25日9：00－15：00
対 象	市内の大人
場 所	武蔵五日市駅－深沢大カシ－養沢横根道－瀬音の湯
参加者数	－（雨天のため中止）
目 的	地域と協働で復活させた昔道を歩き 恵みの森づくりに参加してもらう
内 容	協働の道が深沢－養沢でつながった。その道を歩き、郷土の恵みの森づくりの理解を深める予定だったが中止となった。

⑪ 里山たんけんだ！



実施日時	3月17日10:00-15:00
対 象	小学生（保護者の参加可）
場 所	菅生若宮子ども体験の森と菅生交流会館
参加者数	16名（内保護者5名）
目 的	森遊びの楽しさを感じてもらう
内 容	午前中は里山たんけんを行った。冬眠から目覚めているかもしれない川の生き物を探し、けものが使っている“けもの道”を歩き、森のスライダーやブランコで遊んだ。午後は竹工作で、虫やおみくじなど独創的な作品を作る子が多かった。

(2) 人材育成事業「森の子コレンジャー」

① 始動式



実施日時	5月15日8:15-17:00
場 所	菅生若宮子ども体験の森と周辺の谷津田
参加者数	18名
テ ー マ	始動式と谷津田の生き物調査
内 容	認定証を受け取った後は、自分の名札を作り初任務として植樹を行った。谷津田の生き物調査のため森に入ったが、アオダイショウに出会うなど他にも多くの発見があった。

② 夜の森をのぞいてみよう



実施日時	7月22日15:00-21:00
場 所	菅生外周北尾根と市有地
参加者数	17名
テ ー マ	夜の森を感じ、夜の生き物を知る
内 容	野生動物の痕跡について学んだ後、設置しておいたセンサーカメラを回収しホンダヌキの映像が確認できた。ライトトラップに集まった小さな虫たちから、甲虫だけではなく全ての生き物も大切な命だというような、命のつながりを学んだ。

③ 森の地図作り



実施日時	9月10日9:00-16:40
場 所	菅生地区の市有林
参加者数	13名
テ ー マ	ヒノキの森の地図作り
内 容	森を知るための方法の一つ「地図作り」。自分たちの目線だけではなく上から見た地図を作る。メジャーで測り縮尺し、コンパスで正確な一本の木の位置を出す。完成した地図を見て、「木が密集している所、少ない所がわかる」「多い所は切って少ない所には植えるのがいい」といった声が上がった。

④ 新宿の森植樹イベント



実施日時	10月29日9:30-13:30
場 所	戸倉地区伝名沢の市有林
参加者数	14名
テ ー マ	新宿区との友好の植樹をサポートする
内 容	新宿区民の方と交流しながら、コレンジャーとして植樹をサポートした。

⑤ 間伐体験



実施日時	11月6日8:30-17:00
場 所	菅生地区の市有林
参加者数	18名
テ ー マ	森の地図を基に間伐をする
内 容	間伐する木を決め、レンジャー指示の下コレンジャーが木にノコギリを入れていく。ツルを残しみんなで引っ張り倒す。倒した後は、2M間隔で玉切りし年輪をそれぞれ数えた。ふりかえりでは、木を切ることも必要、そして切った木を利用することが必要だということを話し合った。

⑥ 産業祭



実施日時	11月12-13日10:00-16:00
場 所	都立秋留台公園
参加者数	19名
テ ー マ	どんぐり笛作りの先生
内 容	会場でのどんぐり笛作りのブースの宣伝と、来場者にどんぐり笛作りを教える任務を果たした。

⑦ 新年会



実施日時	1月5日10:00-15:00
場 所	菅生交流会館と菅生若宮子ども体験の森
参加者数	13名
テ ー マ	1年の振り返りと新年会
内 容	これまでの活動の振り返りを行い、多くは、ヘビに触ったことと間伐体験が印象に残っていたので、その時の感想や学んだことを振り返りシートに記入してもらった。その後は年初めの森歩きを行い、おしるこをみんなで食べて解散となった。

⑧ 巨木と出会う



実施日時	1月22日8:30-17:30
場 所	落合、養沢地区
参加者数	14名
テ ー マ	地域と協働で復活した昔道や巨木に出会い 森と人が共に生きてきたことを学ぶ
内 容	雪上アニマルトラッキングを学びながら、冬の森を歩いた。歴史や文化のある昔道を行き、巨木にも出会った。自分たちの住んでいるまちに残る自然や文化を守り伝えていくことを感じた。

⑨ 環境活動コンテスト発表



実施日時	2月12日9：30－16：00
場 所	国分寺市立いずみホール
参加者数	2名
テ ー マ	森の子コレンジャーの活動紹介
内 容	1月の新年会で、コレンジャーが書いた振り返りシートを基に、コレンジャー活動の紹介を行った。

⑩ 終了式



実施日時	3月11日8：30－17：00
場 所	ふるさと工房－長岳尾根－石原沢－小宮小学校
参加者数	18名
テ ー マ	終了式
内 容	終了式では臼井市長より、あきる野の自然・文化の守り人になってほしいと話があった。その後力を合わせてバームクーヘンを作った。午後は、一期生最後の山歩きを行い、次年度活動拠点となる小宮小学校で終了となった。



森の子コレンジャー通信 VOL. 1 発行：森林レンジャーあきる野

コレンジャー始動！

選ばれた19名(1名欠席)のコレンジャーが集合

5月15日(日)快晴。いいよ、森の子コレンジャーが始動しました！

菅生若宮子ども休戦の森に集合した18人は、それぞれ興味を持ったものなどに夢中になり、発見したものや調査したことを森林レンジャーに口々に話し、野帳に書き込みます。たくさんの好奇心と笑顔を持った顔もしいコレンジャーに、こちらも学級の1日となりました。

自分の意思でコレンジャーになって、好きなことをやっている子どもたちの顔は、本当にイキキとしています。それぞれの好きなことや興味の湧くことを見つけ、個性をもっと伸ばしてほしい。私たち森林レンジャーは、そのお手伝いをしたいと思っています。

集合写真を撮る頃、18人ってこんなに少ないかなって思っただけ？・・・と感じるほどハワイ流れる個性豊かな仲間であ



すが、森づくり活動ではみんなで力を合わせて共に開きます。大変なことを楽しいことに変えてやっていると、のたくましさが出てきました！

これからの1年間が楽しみです。森林レンジャーと一緒に、からこそできる自然体験をたくさんしていこうね。

始動式のようす



自然を愛するあなたをコレンジャーとして認定します
仲間と絆を結び、あきる野の自然とふれあひ
遊ぶことを目標に、1年間楽しく活動しましょう！
そして、森づくり自然を愛し、学び合い、共に守っていく

こう記されている認定証とコレンジャーの証である帽子と野帳の授与を行いました。その後、コレンジャーとしての心得を共有しました。この時は、みんな真剣な眼差しです。学校も学年もバラバラな子どもたちですが、一つだけ共通しているのは自然が大好きという気持ち。この気持ちがあれば、楽しく力を合わせて活動していけると信じています。

マイ名札を作る

本をうす〜く切ってヤスリでかけ、名前を書いてペンをつけて…完成です！



「ノコギリを使ったことがある人？」の質問に、一斉に「はい！」とみんな手をあげます。さすがあきる野の子どもだね。



初任務「植樹」

初めての植樹 水くみ作業が人気！仲間と協力してくんだ水を木にあげる



谷津田の生物調査 さあ！谷津田を目指して森へ出発です！どんな生物に出会えるかな？



谷津田とは、谷の水を利用して作った水田のこと。今では米を作っていない場所ですが、この谷津田を利用して生物の調査を行いました。森に入ると約1.2mのアオダイシヨウに遭遇！「冷たくてツルツルしていて気持ちいい！……けど、くさい！」実際に出会ったからわかる貴重な体験です。さらに進むと、何人かがオオタガを発見！一瞬の出来事でした。

谷津田では、トウキョウサシヨウウオや数種類のガエルの幼生なども観察しました。腐葉土に産卵した水生生物を守るために、私たちができることを考えて活動していこうと話し、また、イジシのぬた場もあり、けものたちも谷津田を利用していることがわかりました。

体験の後は振り返りの時間です。発見した動物や植物の名前を出し合い、それぞれが一番興味を持ったものについて詳しく調べて発表します。オオタガや水生生物だけではなく、植物のギンランやどんぐりも調べました。ギンランが少なくなっていることや、にがいどんぐりは人間には要注目だということがわかりました。私たちが食べられないどんぐりでも、イジシの大切な食べ物になっていて命をつないでいます。

オオタガがいる森は、たくさんの生物がいる豊かな森だということもわかり、体験と振り返りの時間から多くのことを学んだ1日となりました。

(加瀬澤)

次回：あきる野の川へ探検だー！

森の子コレンジャー通信 VOL. 3 発行：森林レンジャーあきる野

森の地図をつくろう！

森の子コレンジャー第3回目の活動は、秋川の水辺の生き物調査の予定でしたが、台風の影響により川の活動を中止し、11月に予定していた森の活動を行いました。

前回までは「自然に親しみ関心を持つ」ことを体験しましたが、今回はステップアップして「自然をより深く知り理解する」体験です。気温は高かったのですが、ヒノキの森の中は涼しい！森の気持ちよさを感じながらの活動となりました。

生き物が好きで多くのことを「知りたい」コレンジャー達は、森で出会う生き物についても興味をひかれています。今回は、その生き物達がすむ「森」について学びました。

森の地図ってどうやってつくるのかな？

森を知るための方法はたくさんありますが、森がどうなっているのか全体を見ることから始めます。そのために森全体を上から見てみよう！ということで、「森の地図」作りを行いました。

まずは4チームに分かれて、森の木の位置を正確に地図におくしていきます。基準の木と位置をおとす木の距離をスジャヤーで測り、用紙にその距離を縮尺して、算数で使うコンパスやモのざしを使い木の位置を地図におきます。

最初はみんな「？？？」の表情でしたが、要領をつかむと早いです！頭と体を使いながら、チームワークを発揮しての活動となりました。

さあ、どんな地図が完成するのでしょうか？



森の地図づくり活動風景

森の地図が完成しました！



地図から見えたことは？

地図を見てどんなことが分かるか、みんなに質問しました。すると「黒い点が集まっている所・少ない所があることがわかった」と答えが返ってきました。森を私たちの目線で見ても、木が生えている位置がどうなっているのかわからない。でも、こうして森を上から見てみると木が生えている位置がわかるね、とみんなで話しました。すると今までは「あーんこ」だった黒い点が、生きている木に見えてきました。

この地図を見て、どう感じるか聞くと「木が多い所は少し切っで、少ない所には木を植えるのがいいと思う」と答えが返ってきました。何のためにそうするのがいいと聞くと「森にすむ生き物たちのため」「木のため」とロクに答えが返ってきました。

話し合いの中で、地域や国によって森と人の関係は違うけど、あきる野のこの森では木や生き物たちのためにも、森の管理が必要なることを伝えました。そして、みんなが作った地図から学んだことを11月に実践しようと思ってみて話し合いました。

次回は、森づくりの一つ「間伐」を学びます！

見なれた風景

その日に見えた風景は、どこまでも静かな風景です。



11月もみんなが森で食おうね！

森の地図が完成しました！

4チームの地図を合わせて、一枚の大きな紙に木の位置をおとしていきます。作業するのと2時間、みんな頑張りました。森の地図の完成！シンブルではあきる野の森の地図を作った森の地図です。森の地図を見てみんなは…「黒い点がいっぱい」「あーんこみだい」「なんじゃこりゃー」など、面白い名前です。誰かに、アキがエサを探してウロウロしているように見えちゃいます（笑）しかし、鳥の方を覚えて地図を見てもと新たな発見があるのでは？！さて、何が覚えてくるのでしょうか？

みんなで見えた風景



活動の最後に行う「ふりかえり」の前には、毎回こういった風景がみられます。コレンジャーはその日の活動中に見た興味のあるもの、知りたかったことなどを図鑑で調べます。森林レンジャーが教えること以上に、自分で自然について再発見する方がおもしろいはずですよ。

みんなこの時は、静かに図鑑に学んでいます。図鑑は、活動のテーマに合ったものを中央図書館で借りて利用しています。

ゆきちゃん（加瀬野）



次回の森の地図が完成したら、みんなで見えた風景をみんなで見ようね！おはるも森の生き物たちの、そのまわりの生き物たちも、みんなで見ようね！

Morinoko CORANGER
あきる野

森の子コレンジャー通信

VOL. 5
発行：森林レンジャーあきる野

巨木に出会う 野の人が自然体験（野遊）をやる

森の子コレンジャー第5回目の活動は、巨木に出会う山歩きでした。前日までは大雪や大雨でしたが、雪が溶けて、馬の水飲み場、跡にも残っていることが出来ました。森から得られる木材や山菜などの面影をもらっている人、馬はその大切な梅物の運び手だったのです。あきる野市には、あまり知られていませんが巨木が多く残っています。何百年と生きてきた4本の巨木に出会い、コレンジャーはどう感じたのでしょうか？ 次回は、今年度最後の活動です！

アニマル・トラッキング

いろいろな出会い

昔道を歩く



▲ 足あと発見！



▲ イノシシ



▲ アライクマ



▲ ホンドテン



▲ ファン発見！



▲ タヌキのたぬファン



▲ 八坂神社



▲ 巨木



▲ 五十年樹



▲ 樹木道



▲ 樹根峠



▲ コヒカガミ



▲ 山の神さま



▲ 馬の水飲み場



▲ 樹根峠



▲ コヒカガミ



▲ 樹木道



▲ 樹根峠



▲ 馬の水飲み場



▲ 樹根峠



▲ コヒカガミ



▲ 樹木道



▲ 樹根峠



▲ コヒカガミ



▲ 樹木道



▲ 樹根峠



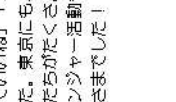
▲ コヒカガミ



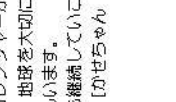
▲ 樹木道



▲ 樹根峠



▲ コヒカガミ



▲ 樹木道



▲ 樹根峠



▲ コヒカガミ



▲ 樹木道

いろいろなみんな
































環境活動コンテスト優秀賞！！

2月12日（土）国分寺市立いすみホールにて、環境活動コンテストが行われました。きーちゃんとわがびーのおかげで素晴らしい発表ができました！グランプリを受賞することはできませんでしたが、周りの方に「あきる野っていいね」「コレンジャーかわいい！」とよい評判をいただきました。東京にも、地球を大切に思い行動している人たちがたくさんいます。コレンジャー活動も継続していこうね。お疲れさまでした！ [きーちゃん（加瀬澤）]

3 まとめ

平成23年度実施した自然体験事業では、総人数（のべ人数含む）1292名に参加していただき、多くの人にあきる野に残る素晴らしい自然を紹介し、体験してもらうことができました。

参加者からは、「自然に参加者同士が友だちになる」「知らなかった地域の自然の中で普段できない体験ができる」「地域の人とのふれあいが楽しい」「自然の素晴らしさを再発見した」といった声や印象をうけました。

特に、人材育成事業「森の子コレンジャー」では、「地域の自然を理解する」「好きなことに夢中になれる」「仲間になれる」「責任感が生まれる」「自分を出せる」「思いっきり遊べる」など、1年間で変化し成長していく子ども達を見ることができました。

コレンジャーの活動は、地域に残る豊かな自然の中で、集まった参加者同士が触れ合い同じ時を過ごします。その中で、人との関係を育み、個性を見つけ、仲間になっていきました。自然の中での他者との関わりは、自然が多様であること、自然がつながりを持っていることなどを感じることで、自分や他者の個性を認めることができるのです。自然と自分との関わりは、自ら体験し自然から学び取ったことは鮮明に心に残るので、子どもの時に発見できなかったことも、思い出した時に自然との関わり方を見つめ直すことができるのです。常に変化していく自然から学ぶ子ども達は、きっと変化していく環境でも自分らしい生き方ができると信じています。

来年度のコレンジャーの活動は森づくりに挑戦します。地域の自然を学び、野生動物と人が利用できる森を目指し、共に変化していきたいと思えます。

平成24年度は、小宮ふるさと自然体験学校が開校します。この体験学校で、森林レンジャーが2年間で積み上げてきた経験や調査データを活かしたプログラムを実施していくと共に、市内の小学生の自然体験学習のサポートをしていくなどの環境教育を推進していきます。多くの市民そして、あきる野を訪れる人に自然の持つ魅力を再発見してもらう場を提供し、自然と人との関わりを見つめ直す場づくりをしていきます。

環境教育は、すぐに成果があらわれるものではありません。10年後、20年後を見据えた取り組みであり、多くの恵みを得られる森を守る“人”を育てていきます。